

A-13 エリソルビン酸のポーラログラフ的研究
(第2報) エリソルビン酸の安定性について

奈良女子大 梶田 武俊

1. エリソルビン酸を定量する場合にも、また食品酸化防止剤として実際に使用する上においても、その安定度が最も問題になる。

筆者はかかる意味から、エリソルビン酸の酸化に及ぼす諸因子の影響について検討し、2, 3の知見を得たのでその結果を報告する。

2. ポーラログラフ法により、エリソルビン酸の酸化に対する糖類、酸、アルカリ類、金属塩及びアミノ酸等の影響をしらべ、L-アスコルビン酸の場合と比較検討した。

3. その結果糖類、金属塩に対しては、L-アスコルビン酸とエリソルビン酸との間には余り大きな差はみられなかったが、酸類に対しては何れもエリソルビン酸のほうが酸化が著しく、殊に塩酸、クエン酸においてその差が顕著に認められた。